



【戦評シート】

平成 16 年 5 月 4 日 (火)	協会名： 能代市 バスケットボール協会		
場 所： 能代市総合体育館	記入者： 糸井 大輔		
チームA 埼玉県高校選抜 113	$\left\{ \begin{array}{l} 27-17 \\ 18-28 \\ 34-28 \\ 34-29 \end{array} \right\}$	102	チームB 能代工業高校

スターター	チームA： #4山田、#6富田、#8佐藤(基)、#13佐藤(潤)、#14鹿野
	チームB： #4宮城、#5二田、#6信平、#8齊藤、#9金谷
ディフェンス (試合開始時)	チームA： <input checked="" type="checkbox"/> マンツーマン <input type="checkbox"/> ゾーン () <input type="checkbox"/> その他 ()
	チームB： <input type="checkbox"/> マンツーマン <input checked="" type="checkbox"/> ゾーン (2-2-1) <input type="checkbox"/> その他 ()

第1Q、埼玉県選抜はオールコートマンツーマン、能工は2-2-1からの2-3のゾーンでゲーム開始。埼玉県選抜は立ち上がりから#4山田のアウトサイドシュートがよく決まり、#6富田のオフェンスリバウンドからのバスケットカウント等で快調に得点を重ねる。一方の能工は#5二田、#11 畑澤がインサイドで頑張るものの、埼玉県選抜の粘り強いディフェンスに得意の3Pが封じられる。27-17 と埼玉県選抜ペースで第1Qを終了。

第2Qに入り能工がゾンプレスの当たりを強めると、埼玉のリズムが狂い始め、ミスが目立つようになる。埼玉県選抜#6富田が3ファールとなりベンチに下がると流れは一気に能工に傾き、#4宮城の立て続けのゴール下に満員の観衆が沸き上がる。

同点で迎えた第3Q、開始から埼玉県選抜#8佐藤が4本連続の3Pを沈め、再び突き放しにかかる。開始5分過ぎには埼玉県選抜の15点リードとこのゲーム最大の点差が開くが、能工も激しいディフェンスから速い展開に持ち込み、#4宮城の個人技を中心に追いつがる。

第4Qに入っても一進一退の攻防が続くが、残り5分となったところで埼玉県選抜の速攻が連続して決まり、再び差が広がり始める。終盤、落ち着いてパスを回す埼玉県選抜に対し能工に焦りが見えはじめ、思うようなオフェンスに持ち込めない。結局、終始ゲームをリードした埼玉県選抜が最後まで主導権を離さず熱戦を制した。

注意：文面には試合内容のみご記入下さい。